

プログラム

■ 第38回全国浄化槽技術研究集会 10月30日(水)

1-I 式典 12:30 ~ 13:20

1. 主催者挨拶

公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長 由田 秀人

2. 来賓挨拶

長崎県知事 大石 賢吾
長崎市長 鈴木 史朗
環境省 環境再生・資源循環局 次長 角 倉 一郎
国土交通省 審議官(不動産・建設経済) 堤 洋介
農林水産省 農村振興局 整備部長 緒 方 和之
一般財団法人長崎県浄化槽協会 理事長 佐藤 秀文

3. 浄化槽関係事業功労者 環境再生・資源循環局長表彰贈呈

4. 浄化槽研究奨励金贈呈

5. 公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長感謝状贈呈

1-II 特別講演 13:30 ~ 14:20

「浄化槽の明るい未来が市町村の現場から見えてくる

～人口動向に適應した整備・維持運営体制の再構築～」

北海道大学大学院公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作

1-III 次回開催地挨拶 14:20 ~ 14:25

公益社団法人茨城県水質保全協会 理事長 成田 浩明

1-IV 閉式 14:25 ~ 14:30

1-V 研究発表 15:00 ~ 17:15

A会場

研究発表1 (15:00~16:00) 4本

研究発表2 (16:15~17:15) 4本

座長

豊橋技術科学大学 名誉教授 木曾 祥秋

文京学院大学 非常勤講師 伊与 亨

B会場

研究発表3 (15:00~16:15) 5本

国立研究開発法人国立環境研究所

上級主幹研究員 蛭江 美孝

1-VI 懇親会 18:00 ~ 20:00

研究発表会 1 15:00 ~ 16:00 座長：豊橋技術科学大学 名誉教授 木 曾 祥 秋	
1-1	「ラインレーザーを用いた光投影法による浄化槽内スカム厚の計測」 公益社団法人岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター 柿 木 明 紘
1-2	「処理水に残存する懸濁物質および溶解性有機物がLED紫外線消毒に及ぼす影響」 公益社団法人岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター 稲 村 成 昭
1-3	「接触ばっ気槽における硝化反応の異常を検知するモデルに関する事例研究」 株式会社No c n u m (ノックナム) 渡 部 龍 一
1-4	「指定検査機関における生産性向上の取組事例と効果について」 一般財団法人福岡県浄化槽協会 与古光 千夏子

研究発表会 2 16:15 ~ 17:15 座長：文京学院大学 非常勤講師 伊 与 亨	
2-1	「浄化槽由来のボウフラが水質に与える影響」 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 植 木 優 斗
2-2	「小型浄化槽で週間タイマーを用いた間欠曝気運転による透視度改善」 有限会社フレヴァン 若 林 弘 敏
2-3	「流達率を考慮した浄化槽と下水道の水質の比較」 公益財団法人鹿児島県環境保全協会 乾 達 哉
2-4	「熊本県の災害と浄化槽 被害と今後の備えについて」 公益社団法人熊本県浄化槽協会 崎 村 英 明

研究発表会3 15:00 ~ 16:15 座長：国立研究開発法人国立環境研究所 上級主幹研究員 蛭江美孝	
3-1	「簡易測定法の開発を伴う単独-合併転換によるマイクロプラスチック削減量の推定」 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 塩原拓実
3-2	「浄化槽処理水に起因する河川へのマイクロプラスチック負荷量の推定」 常葉大学 社会環境学部 山田建太
3-3	「浄化槽汚泥収集・運搬モデルの構築と濃縮車導入による事業費用節約効果」 国立大学法人東北大学大学院 KE RONGXIN
3-4	「小型浄化槽の構造および使用条件と清掃汚泥量の関係」 公益財団法人日本環境整備教育センター 濱中俊輔
3-5	「処理水を用いた野菜や果物の生産と安全性の検討」 秋田県立大学 名誉教授 尾崎保夫

併催 第46回浄化槽行政担当者研究会 プログラム(案)

■浄化槽行政担当者研究会

■浄化槽検査員研究会

合同プログラム 10月31日(水)

※午後のプログラムは、各研究会に分かれて実施します。

2-I 開会 9:00 ~ 9:20

公益財団法人日本環境整備教育センター 理事長 由田 秀人
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室長 沼田 正樹
長崎県 県民生活環境部長 大安 哲也
長崎市 環境部長 立木 祝成

2-II 行政報告 9:30 ~ 11:40

1. 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室
2. 環境省 水・大気環境局 水環境課
3. 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課
4. 農林水産省 農村振興局 整備部 地域整備課
5. 総務省 自治財政局 準公営企業室
6. 内閣府 地方創生推進事務局

昼休憩

2-III パネルディスカッション 12:30 ~ 14:00

テーマ「浄化槽国際展開をさらに推進するために必要なこと」

司会：元埼玉大学大学院 教授 河村 清史

パネリスト：

1. 「浄化槽国際展開の取り組み」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
浄化槽推進室 環境専門調査員 ホワン ティー マイ

2. 「「アジア水環境改善モデル事業」における取り組み」

環境省 水・大気環境局 環境管理課
課長補佐 赤道 麻由

3. 「分散型汚水処理に関する国際動向」

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域
廃棄物処理処分技術研究室 上級主幹研究員 蛭江 美孝

4. 「海外における浄化槽の普及状況と課題」

公益財団法人日本環境整備教育センター
浄化槽システム国際協力センター 調査役 雲川 新 泌

5. 「浄化槽メーカーによる海外展開事例紹介1」

ダイキアクシスインディア
代表取締役社長 和座 良太

6. 「浄化槽メーカーによる海外展開事例紹介2」

フジクリーン工業株式会社
海外事業部長 田畑 洋輔

ディスカッション

浄化槽行政担当者研究会

2-IV 行政—情報 14:10 ~ 15:40

1. 「長崎県における浄化槽行政について」 (仮題)
長崎県 県民生活環境部 水環境対策課 生活排水班
本 多 洋 幸
2. 「埼玉県における浄化槽台帳整備の取組」
埼玉県 環境部 水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当
技師 稲 原 信 也
3. 「美しい水環境を後世に引き継ぐために」 (仮題)
一般社団法人大木町合併処理浄化槽維持管理協会
藤 原 俊 佐

2-V 閉会 15:40 ~ 15:45

浄化槽検査員研究会

2-VI 検査—情報 14:10 ~ 15:50

1. 「小型合併浄化槽清掃後における浄化機能の立ち上がりの検証について」
一般財団法人長崎県浄化槽協会 検査部検査課
課長補佐 柳 原 健
2. 「鹿児島県における特定既存単独処理浄化槽の判定と措置について」 (仮題)
公益財団法人鹿児島県環境保全協会
検査部長 大 町 盛一郎
3. 浄化槽メーカーからの情報提供
 - (1) 「海外浄化槽設置の事例と各国規制・環境下における課題」
ダイキアクシスインディア
代表取締役社長 和 座 良 太
 - (2) 「ベトナムにおける浄化槽普及に向けた現状と課題」
株式会社カンスイ
代表取締役社長 本 多 幸 雄

2-VII 閉会 15:50 ~ 15:55